

山川菊栄の思想と活動

姉妹よ、

まずかく疑うことを習え

映画上映と  
監督トーク

講師：山上千恵子（映画監督）

上映時間 76分

日時：9月17日（土）午前10時～12時30分

場所：摂津市立男女共同参画センター交流室

定員：50名 参加費：無料

※お子さん（1歳～就学前児）の  
一時預かり 無料／先着順  
9月13日（火）までに要予約



なぜ女性は生きづらいのか・・・

この問いから始まった

山川菊栄の女性解放史を

今につなぐドキュメンタリー

山川菊栄(1890～1980)

1890(明治 23)年東京に生る。女子英学塾(現津田塾大学)を卒業、26歳で社会主義者の山川均と結婚。「廃娼論争」、「母性保護論争」、「社会主義論争」、「産児調節論争」、「無産政党女性綱領論争」、「労働組合婦人部論争」など、多くの論争に参加。切り口の鋭さ、知識の豊富さ、論理の厳正さは抜群。その主張は、例えば階級支配と性支配の差別の重層性に切り込むなど、今日の課題に通ずる先駆性を持った。

1947年、初代・労働省婦人少年局長となり、女性と年少労働者のための「保護・福祉」行政に奮闘。その後、「婦人の声」を創刊し、また婦人問題懇話会を設立し「婦人問題」研究の後進を育てた。

1975年には「幕末の水戸藩」で第2回大仏次郎賞受賞。

1980年(昭和 55)年死去。

問い合わせ・申し込み：摂津市立男女共同参画センター・ウィズせつつ

TEL:06-4860-7112/FAX:06-4860-7113

※男女共同参画センターの事業は、「第3期摂津市男女共同参画計画 ～ウィズプラン～」に基づいて開催します。

主催：摂津市